

9月  
定例会

## のざき正志・定例会一般質問より

質問

住んでいるだけで自然と歩き、健康になるスマートウエルネス三条の取組みについて、高齢者の外出機会の創出はどうか。

答弁

市民インタビューも実施したところ、様々なことに関心があることがわかり、大きな事ばかりではなく、小さなこと、やさしい紙工作、縁側将棋など、立ち寄ったときに簡単に楽しめるものも取り入れている。いつでも気軽に参加できる行事を数多く実施したいと考える。

質問

医療費の比較、健康づくりの成果で具体的な数値も出ている。取組みの検証はどうか。

答弁

26年度の小学校区での一人当たり医療費は、最大で15万円3千円の差がある。医療費の高額者の割合が高ければ高いほど地区医療費を高めている。医療費抑制には、生活習慣病予防が重要と考える。

質問

被災者支援システムの導入・運用について、システムの研究はどう進んでいるのか。

答弁

昨年度、県内市町村が参加した研究会で先進地視察、システムの中でもストレージなど、検証を進めてきた。被災者支援システムに非常に有効なシステムと報告している。導入コストも低廉などとして昨年度末に導入した。

平時は、被災者台帳の準備、備蓄など災害時に備えた対応をしている。

質問

災害時におけるマイナンバーカード利活用はどうか。

答弁

三条市では、条例による独自サービスとして、避難所、避難者及びその世帯の住所、氏名等の記載負担の軽減と早期に安否確認ができると考える。

平時における備えが重要と考え、水害対応総合防災訓練において、被災者支援システムと連携した模擬訓練を実施した。



研修会でIT推進の取組みについて話しをする野崎議員



奥胎内ダム視察での事業説明

「現場からの声、皆様からの声をカタチに変えて行きます。」皆様よりの声にしっかり対応してまいります。気軽にご相談を下さい。 三条市議会議員 のざき正志 携帯080-9804-9371  
ホームページはこちら <http://www.komei.or.jp/km/sanjo-nozaki-masashi/>